

・・・ 編集後記 ・・・

今年の夏は梅雨前線の影響から九州地方をはじめ全国各地でゲリラ豪雨による被害が多発しています。被災されました方々におかれましては心よりお見舞い申し上げます。被災地では多くの援助・協力が必要な事態となり、続々と現地入りしているボランティアの方々にも頭が下がります。昨今の人工知能(AI)発達のスピードをもってしても、容赦ない大自然の牙に対しては手の打ちようがなく、人が人を支え助け合うことの大切さを改めて感じずにはいられません。

さて、そのAIの技術革新や発展の目覚ましさがとても気になります。先日、AI搭載の『心』を持ったロボットが発売されましたが、それをテレビで見ている相手の表情を読み取り適宜対応をする姿がまるで幼少の頃みた空想の世界『鉄腕アトム』に重なりました。今後も加速度的にSFアニメの世界に近づいていくのでしょうか。21世紀生まれ初の将棋棋士である藤井四段の強さもAIソフトの活用があると言われてます。

既存の膨大な知識や技術はAIやビッグデータの活用により瞬く間に整理され、必要時に迅速に提供

されていく新時代がすぐそこまで来ているとすると、今後、一体どのような仕事が残りと、新たに求められる仕事はどのような分野となるのかが気になります。この先それが明確になっていくと、教育の方針も大きく変わっていかざるを得ない時がくるのでしょうか。AIやビッグデータ活用などの新時代の到来により、医師をはじめとする医療従事者の仕事も減少していくことが推測されている昨今、臨床検査技師は何に重点を置いて変わっていくべきかを考える時期でもあります。それは、多くの経験知に基づいた高い技術が必要である一面に、既存の知識から次への発見に結びつくヒントを引き出せる能力をプラスしたものではないかと考えます。さらに『人としての心』を持ち、他業種の人たちと連携し、人間味溢れる熱いシゴトができることなのかも知れません。何れにしましても、完璧な世界にドラマは生まれません。

これからは、宇宙の果てから地球を見つめ直してみるくらいの客観性を持って次代を迎えたいものです。銀河鉄道999のメーテルのように。

(平成29年7月17日 編集委員 横尾智子)

一般社団法人 日本臨床検査学教育協議会
日本臨床検査学教育学会 学術部
編集委員会(平成27・28年度、五十音順)

副理事長(学術部)：奥村伸生(信州大学)

委員長：松尾収二(天理医療大学)、副委員長：嶋田かをる(熊本保健科学大学)・渡邊幹夫(大阪大学)

委員：石橋佳朋(東武医学技術専門学校)、奥宮敏可(熊本大学)、坂口みどり(九州医学技術専門学校)、高岡榮二(高知学園短期大学)、村上博和(群馬大学)、山内一由(筑波大学)、横尾智子(新渡戸文化短期大学)、横田浩充(東邦大学)

査読者(第9巻1,2号)：網崎孝志、伊藤昭三、今井正、大澤佳代、小河原はつえ、駒井浩一郎、所司睦文、徳原康哲、永瀬香澄、原田幸一、細萱茂実、松原朱實、横田浩充

臨床検査学教育 第9巻 第2号

平成29年9月1日 発行

発行人：一般社団法人日本臨床検査学教育協議会
理事長 奥村伸生
〒113-8519 東京都文京区湯島1-5-45
東京医科歯科大学大学院 保健衛生学研究科
生体検査学専攻内
Tel. 080-4893-0572
e-mail : jimukyoku@nitirinkyo.jp
http://www.nitirinkyo.jp

編集：日本臨床検査学教育学会 学術部 編集委員会
e-mail : edit@jamte.org
制作：(株)宇宙堂八木書店
〒104-0004 東京都中央区入船3-3-3
Tel. 03-3552-0931 FAX 03-3552-0770
広告取扱社：(株)日本廣業社
〒102-0074 東京都千代田区九段南2-3-11
Tel. 03-3238-7501